

R6.11月

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
11月11日	11月13日	3日	尿路感染症	尿バット内、紫色に変色した排尿。 検尿し、尿蛋白 (2+) 潜血 (2+) Dr尿路感染症の診断。 抗菌剤/β7αキリシ (100) 3錠3×1 3日間投与。 尿の性状改善にて、経過観察とする。
11月18日	11月21日	4日	尿路感染症	尿バット内血尿持続、検尿にて潜血 (3+) と発熱あり。 尿路感染症の診断 /β7αキリシ (100) 3錠 3×1 4日間投与
11月25日	11月28日	4日	尿路感染症	KT38.6℃ 所見低下、左手指から母指にふけて腫脹、熱感、疼痛あり レントゲン撮影左手関節挫傷の診断 検尿：亜硝酸 (+) 蛋白 (+) 白血球 (+) 潜血 (-) 糖 (-) インフル、コロナ抗原キット陰性 Dr診察 尿路感染の診断 抗菌剤4日間投与 Rp) /β7αキリシ(100)3T 3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
11月27日	11月30日	4日	尿路感染症	オムツバット内血尿とコアグラあり、検尿：亜硝酸 (+) 蛋白 (+) 潜血 (3+) WBC (2+) 発熱なし Dr診察 尿路感染症の診断。 フルフロキサシ (100) 3T 3×1 4日間投与。
11月28日	11月30日	3日	尿路感染症	長尿量、β7αキリシから尿漏れ多し 検尿：亜硝酸 (-) 蛋白 (+) 白血球 (-) 潜血 (-) 糖 (-) Dr診察 尿路感染の診断 抗菌剤3日間投与 Rp) ピクシリンS(250)3T 3×1 経過観察へ
11月21日	11月30日	10日	慢性心不全の増悪	慢性心不全、心房振動を有し、+β 利尿剤は服用中であるも此の処、両下肢浮腫増強、体動時の息切れ (+) 聴診上 心雑 (+) 呼吸音クリア。 採血にて心機能検査 (BNP) 1117.2P _g /mlと高値を示す。 食事摂取量他一般状態について経過観察へ
11月21日	11月30日	10日	慢性心不全の増悪	大動脈弁閉鎖不全心不全、を有し、+β 利尿剤服用中であるも此の処、両下肢浮腫増強、体動時の息切れ (+) 聴診上 心雑 (+) 呼吸音 (+) 。 食事摂取量他一般状態について経過観察へ
11月29日	11月30日	2日	尿路感染症	KT38.6℃ 振戦、食事摂取量低下 検尿：亜硝酸 (+) 蛋白 (H) 白血球 (+) 潜血 (-) インフル、コロナ抗原キット陰性 Dr診察 尿路感染の診断 抗菌剤2日間投与 Rp) /β7αキリシ(100)3T 3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
11月29日	11月30日	2日	口唇ヘルペス	右口唇に発赤、水疱あり Dr診察にて口唇ヘルペスの診断 抗ウイルス剤軟膏塗布の指示 内) ビダラビン軟膏塗布

R6.12

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
12月1日	12月4日	4日	尿路感染症	長尿量あり、パルンカテーテルからの尿漏れ多い。 検尿：亜硝酸 (-) 蛋白 (+) 白血球 (-) 潜血 (-) 糖 (-) Dr診察 尿路感染の診断 抗菌剤4日間投与 Rp) ピクシリンS(250)3T 3×1 経過観察へ
12月1日	12月2日	2日	尿路感染症	KT38.6℃ 振戦、食事摂取量低下 検尿：亜硝酸 (+) 蛋白 (H) 白血球 (+) 潜血 (-) インフル、コロナ抗原キット陰性 Dr診察 尿路感染の診断 抗菌剤2日間投与 Rp) /β7αキリシ(100)3T 3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
12月2日	12月4日	3日	尿路感染症	KT39.2℃ 痰が汚い 検尿：亜硝酸 (+) 蛋白 (+) 白血球 (+) インフル、コロナ抗原キット陰性 Dr診察 尿路感染の診断 抗菌剤3日間投与 Rp) ピクシリンS(250)3T 3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
12月26日	12月31日	5日	肺炎(上気道感染)	KT38.9℃ SPO2 84% 湿性咳嗽あり O2 3L施行 検尿：亜硝酸 (H) 蛋白 (H) 白血球 (+) インフル、コロナ抗原キット陰性 Dr診察 尿路感染の診断 抗菌剤5日間投与 Rp) ピクシリンS(250)3T 3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ

R7.1

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
1月29日	1月31日	3日	尿路感染症	Kt:37.5℃ I回嘔吐あり。 検尿 尿蛋白 (2+) 潜血 (+) 白血球(2+) 亜硝酸(-) Dr診察 尿路感染症の診断。 抗菌剤/47mg/kg (100) 3錠3×1 3日間投与。 経過観察へ
1月13日	1月22日	10日	尿路感染症	Kt:38～39℃台継続 インフルエンザ・コロナ抗原(陰性) 肉眼的血尿(+) Dr診察 尿路感染症の診断。 ・抗菌剤/47mg/kg (100) 3錠 レバミピド(100)3錠 3×1 3日間投与。 高熱継続にて1/16より内服変更 ・抗生剤ピクシリンS(250)3錠 レバミピド(100)3錠 3×1 7日間投与 経過観察へ
1月9日	1月15日	7日	尿路感染症	Kt:38.6℃ インフルエンザ・コロナ抗原(陰性) バルーンカテーテル留置中、ルート内血尿(+) Dr診察 尿路感染症の診断。 抗菌剤/47mg/kg (100) 3錠3×1 7日間投与。 経過観察へ
1月5日	1月9日	5日	尿路感染症	KT38.5℃ 湿性咳嗽 検尿：亜硝酸 (+) 蛋白 (+) 白血球(+) インフル抗原キット陰性 Dr診察 尿路感染の診断 Rp) ピクシリンS(250)3T 3×1 抗菌剤5日間投与 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
1月15日	1月19日	5日	尿路感染症	排尿時痛あり 検尿：亜硝酸(+) 蛋白 (±) 潜血(-) 白血球(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤 5日間投与 Rp) ノフロキシサン(100)3T/3×1 経過観察へ
1月27日	1月29日	3日	尿路感染症	排尿時痛あり 検尿：亜硝酸(+) 蛋白 (+) 潜血(●) 白血球(●) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 Rp) ノフロキシサン(100)3T/3×1 経過観察へ
1月29日	1月31日	3日	尿路感染症	検尿あり 排尿時痛あり 検尿：亜硝酸(+) 蛋白 (-) 潜血(●) 白血球(●) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤 5日間投与 Rp) ノフロキシサン(100)3T/3×1 経過観察へ

R7.2

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
2月1日	2月4日	4日	肺炎（上気道炎）	Kt38.2℃発熱 インフルエンザ・コロナ抗原キット陰性 Dr聴診にて肺炎の診断 抗生剤4日間投与 ピクシリン(250)3T 3×1 解熱剤7t7ミ/フz0.4頓用 経過観察へ
2月10日	2月12日	3日	肺炎(上気道炎)	Kt38.1℃発熱 Dr聴診にて肺炎の診断 抗生剤3日間投与 ピクシリン(250)3T レバミピド(100)3T PL3.0/3×1 解熱剤7t7ミ/フz0.4頓用 経過観察へ
2月17日	2月20日	4日	尿路感染症	KT38.4℃発熱。頓用アセトアミノフェン0.4g投与 検尿、亜硝酸（-）尿蛋白（2+）pH(6) 尿潜血(3+)白血球（3+） Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤3日間投与 ノルフロキサシン（100）3T レバミピド(100)3T /3×1 経過観察へ
2月1日	2月2日	2日	尿路感染症	頻尿あり 排尿時痛あり 検尿：亜硝酸(+)蛋白（-）潜血(●) 白血球(●) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤5日間投与 Rp)ノルフロキサシン(100)3T/3×1 経過観察へ

R7.3

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
3月1日	3月5日	5日	尿路感染症	KT38.1℃ 検尿 尿蛋白（±）潜血（+）白血球(2+) 亜硝酸(2+) Dr診察 尿路感染症の診断。 抗菌剤、胃粘膜修復剤5日間投与 ノルフロキサシン（100）3錠 レバミピド(100) 3錠 /3×1 経過観察へ
3月19日	3月21日	3日	尿路感染症	KT38.6℃ 検尿：亜硝酸（―） 尿蛋白（2+）、白血球（2+） Dr診察聴診 心音呼吸音共に弱し 尿路感染症の診断 抗生剤3日間投与 ピクシリン配合錠3錠3×1 解熱剤7t7ミ/フz0.4g 頓用 経過観察へ。
3月5日	3月9日	5日	尿路感染症	Kt38.5℃ 検尿 蛋白(±)潜血(-)白血球(-) 亜硝酸(-) 右肩痛(+) Dr診察 尿路感染症の診断。 抗菌剤3日間投与 ノルフロキサシン（100）3錠 レバミピド(100) 3錠 /3×1 解熱剤7t7ミ/フz0.4g 頓用 経過観察へ
3月2日	3月6日	5日	尿路感染症	常に尿意あり 検尿：亜硝酸(-)蛋白（2+）潜血(-) 白血球(+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤5日間投与 Rp)ノルフロキサシン(100)3T/3×1 経過観察へ
3月3日	3月6日	4日	尿路感染症	昨日より腹痛と排尿時痛（+） Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤4日間処方 Rp)ノルフロキサシン(100)3T/3×1 経過観察へ
3月21日	3月23日	3日	尿路感染症	排尿時痛（+） 検尿：亜硝酸（+）蛋白（+） 白血球（2+）潜血(-) Dr診察：尿路感染症の診断 KT38.5℃ 慢性咳嗽 ノ/ロキソ 抗原キット検査（陰性） Dr診察 尿路感染の診断 抗生剤5日間投与 Rp)ピクシリンS(250)3T 3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
3月24日	3月31日	8日	帯状疱疹	右前胸部、右背部に疱疹（+）疼痛（―） Dr診察 帯状疱疹の診断 抗ウイルス剤投与5日間及び 軟膏塗布の指示 Rp)アシクロビル(400)2T 2×1 Rp)ビダラビン軟膏塗布
3月21日	3月28日	8日	尿路感染症	KT38.6℃ 検尿：亜硝酸（-）蛋白（+）白血球(2+) コロナ抗原キット検査（陰性） Dr診察 尿路感染の診断 抗生剤4日間投与 Rp)ピクシリンS(250)3T 3×1 解熱なく抗生剤内服変更処方4日間 Rp)ノルフロキサシン(100)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ